



新潟教区報 第119号
2017(平成29)年12月15日発行

新潟教区門徒総代研修会をおえて

地蔵堂組勝敬寺門徒 山岡 重雄

日時 平成二十九年十一月二十日(月)～二十一日(火)

会場 弥彦温泉四季の宿 ミのや (百四名参加)

講師 松本紹圭さん(一般社団法人「お寺の未来」理事・東京教区芝組光

明寺衆徒)

「お寺の今とこれから」というテーマで「お寺の未来」理事の松本紹圭さんを講師にむかえて、地蔵堂組主管にて門徒総代研修会を開催させていただきました。各組・各寺院より百名を超えるご参加をいただき、心より御礼申し上げます。

研修会では、ご講師自身の経験や活動、「未来の住職塾」を聞くに至った経緯と考え方についてお話をいただきました。その後、与えられたあるべきお寺像ではなく、なりたいお寺の姿はどのようなものかを考えるというお話から、「あなたのお寺の十年後、二十年後はどんな風になっていますか?」「あなたのお寺では何を大事にして、何を手放さなければならないのか?」という二つの問題提起を受けて、班別討議が行われました。

今までは、将来のこと、またはお寺で何が大事か、どのように変わって行かなければならないかということはありませんでしたが、ただ行事には必ず参加してお手伝いをしようと思えばかりでした。ご講師のお話を聞き、また大勢の参加者のお話を聞かせていただく事で、今のお寺の有様をあらためてじっくりと考え、整理することができました。また、これからどういってお寺を目指していくかについて、それぞれの環境のもとにいろいろな活動をしているご住職やご門徒の方々の話をたくさんお聞きすることができ、そうした方々と一緒に考えることができたのは本当にありがたいご縁でした。この研修会で得たものや考えた事を忘れずに、一步一步と歩んでいきたいと思えます。

『ハラスメントについての研修会報告』

同朋部会委員 三条組大音寺衆徒 黒川 宣行

日時 平成二十九年九月四日(月)十三時三十分〜十六時三十分
会場 本願寺新潟別院(参加者四十名)

講師 佐藤 春夫さん(連合県央地域協議会特別役員・連合新潟組織担当)

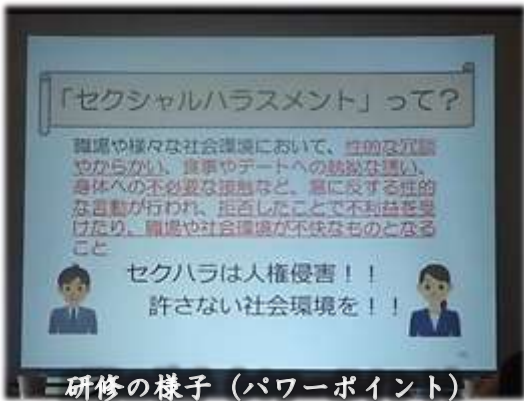
去る九月四日、同朋部会と寺院女性会連盟の共催という形で「ハラスメント」に関する研修会が開催されました。

講師として、連合県央地域協議会特別役員・連合新潟組織担当の佐藤春夫さんをお招きし、講義をいただきました。

ハラスメントとは嫌がらせ、いじめ、苦しめること、悩ませること、迷惑の意味であるという定義の押さえから、ご自身が関わられた実例を交えつつ臨場感のあるお話をいただき、あらためて「ハラスメント、人権侵害は絶対に許されない」「無関係の人間はいない」そして「学び続けなければならない」ということを思わせていただく機会となりました。

ハラスメントはどこでも起こりうるものです。この私自身が、いつ何時、被害者にも加害者にもなってしまうかもしれない。だからこそ気付いていくため、防いでいくためには「自分だけは大丈夫」と思うことなく、学び続けなくてはならないのだと思います。

「ハラスメント」は教区の重点プロジェクトに連なる課題の一つでもあります。これからもこういった研修会を開催し、誰でも共々に学びを深め続けていくことが御同朋の社会の実現を目指していく上で大切だと感じることでした。



研修の様子 (パワーポイント)

仏教婦人会連盟「実践運動」研修会

講談『若き日の親鸞聖人』『親鸞聖人の妻・恵信尼様』

日時 平成二十九年十月七日(土)十三時三十分〜十六時三十分
会場 本願寺新潟別院(参加者七十名)

講師 旭堂 さくら さん(講談師・浪曲師・歌手)

教区仏婦連盟重点項目「聞法につとめる・・・浄土真宗は聞法が大切です。積極的にご法話を聴聞しましょう」に則して、浄土真宗のみ教えを楽しく聞くことができた研修会でした。参加者からも楽しく学ばずができて、非常に良かったとの声をいただきました。

第一部の講談『若き日の親鸞聖人』は親鸞聖人のお得度から六角堂での夢告、『信行両座』(本願を信じる一念に浄土往生が定まるのか、念仏の行を励む功德によって浄土往生が定まるのか座を分けた出来事)や『信心諍論』(親鸞聖人の信心と源空聖人の信心は同じなのか違ふのかという論争)など御伝鈔の内容に則って、ユーモアを交えて

の講談でした。第一部と第二部の間に歌もご披露いただきました。「しんらんさま」の仏教讃歌に続いて、ご自身の歌「長崎の鐘」では平和への願いを新たにすることもできました。第二部『親鸞聖人の妻・恵信尼様』は実話ではなく創作された内容でしたが、恵信尼様の慈愛に満ちた人柄や夫婦ともにお互いを観音菩薩の化身と思ひ、敬い合いながら過ごされたというような「念仏者の生き方」を思わせる内容でした。



歌の披露



参加者との触れ合い

「十人十色の輝き」

巻組妙光寺住職 井上 慶永

『阿弥陀経』の中に、四色の蓮華が咲いていると示されていいる所があります。蓮華が「青色 青光・黄色 黄光・赤色 赤光・白色 白光」と輝いているというのです。一見当たり前のことに思えます。青が青く輝くのは当たり前です。しかし、私たちの世界はそうならないようです。

十人十色と言われるように、私たちには個性があります。でも、個性を輝かせて暮らしているでしょうか。物事をうまく運ぶために立場の強い人の色に染まらなければならぬ時もあります。

逆に自分の立場が強いと周りの人を自分の色に染めたくなってしまう。そうやって、お互い苦悩を深めているのです。でも、仏様は「お互いの色を認めてこそ、自分の色も輝けるのだよ」と教えて下さいます。青黄赤は色の三原色で、この三色を混ぜることで全ての色が表現できます。

白は全ての色を受け入れます。全ての個性が受け入れられる世界・お浄土から届く真実のはたらきを握り所（宗）にして、お互いの個性を認めあえる日暮らしを送りたいものですね。



「第二十二回全国仏教壮年東北大会に参加して」

新潟教区仏教壮年連盟理事長 平澤 茂則

日時 平成二十九年九月二日(土)十三時三十分～十七時
テーマ 「ともにいのち輝く朋友の笑顔」

三年に一回開催される仏社の全国大会が、九月二日仙台市のトークネットホールで、ご門主様ご臨席のもと、全国から千三百人が集結。「ともにいのち輝く朋友の笑顔」のテーマのもと熱気に満ちた一日を共有しました。新潟教区からは総勢二十三名が参加しました。記念講演は、東日本大震災で被災された地元宮城野区・専能寺の足利一之さんが被災から復興に至る支援の数々を熱く語られました。次回には三年後、備後教区で開催されます。



「伝灯奉告法要御満座のご消息披露 総局巡回・新潟教区公聴会」報告

日時 平成二十九年八月三十日(水)十三時～十六時三十分
会場 本願寺新潟別院(参加者四十二名)

第一部では阿部慶一総務より伝灯奉告法要御満座のご消息披露と伝達が行われ、特命布教使によるご法話をいただきました。第二部では『ご親教「念仏者の生き方」に学ぶ』と題した講義、伝灯奉告法要について映像を交えて振り返りました。「平和に関する論点整理」についての報告では、これまで曖昧であった平和の定義・平和への貢献案が提示されました。その後、①災害対策金庫の新たな原資、②次期「実践運動」総合基本計画・重点プロジェクト改定、③十年、二十年後の日本社会で求められる僧侶像・寺院像の三点についての説明の後、全体協議会が行われました。

寺院巡り

地蔵堂組 永了寺

住所 燕市新堀二一三七
電話 〇二五六―九八一―二三四〇

永了寺は、一四一八（応永二十五）年草創と伝えられています。第四世住職円什の時「越後相撲騒動」が起きました。寺の向拝新築のため、その資金集めにと草相撲を催す計画が立てられ、近隣から多くの見物人が詰めかけたといわれています。その時江戸相撲の力士、角文字と四海波の両人が「飛入勝手」の張り紙を盾に取って土俵に上がり、相手になる草相撲力士が居なかつたため、勝ち力士の決まりだと言って資金を集めた木戸銭箱を強奪しました。

群衆は怒り、村役人の制止も聞かず乱闘になり、角文字は撲殺され、四海波は逃げて訴え出たのです。

これにより地元から数十名が江戸へ召喚されましたが、地元側に非なしとの判決を受けました。明治八年、永了寺第十三世住職宗仁の時、騒動時に被告人に擬せられたうちの一人、小川五平の子孫、六代目五平が騒動後百年を機に、角文字を埋葬したと思われる場所に墓石を建立したと伝えられています。



永了寺本堂（左）と角文字・四海波供養墓の由来（右）

○今後の予定

ご関係の皆様、多くのご参拝、ご参加をお待ちしております

・新瀉別院除夜会・元旦会

日時 平成二十九年十二月三十一日（日）二十三時〜除夜会
平成三十年 一月 一日（月） 七時〜元旦会

・布教団研修会

日時 平成三十年 一月二十二日（月）十四時三十分〜
テーマ 「年忌法要における法話の組み立て方」
講師 安方 哲爾 さん（本願寺派布教使・大阪教区）

・真宗教団連合寺院研修会

日時 平成三十年 一月二十三日（火）十四時〜十六時三十分
テーマ 「寺院活性化に向けての活動事例に学ぶ」
講師 坂原 英見 さん（本願寺派総合研究所研究員）

・「御同朋の社会をめざす運動」推進研修会

日時 平成三十年 一月三十一日（水）十三時三十分〜
講師 中島 清志 さん（一般財団法人同和教育振興会研究員）
テーマ 「部落差別解消推進法並びに本人通知制度について」

・連研履修者研修会

日時 平成三十年 二月 十八日（日）

・得度習礼講習会

日時 平成三十年 三月 三日（土）

・真宗教団連合公開講演会

日時 平成三十年 三月 七日（水）
講師 安藤 けい一 さん（新瀉教区福勝寺衆徒・人形遣い）

・仏教青年連盟「教区の集い」

日時 平成三十年 三月 十日（土）

・本願寺新瀉別院「どんとこいフェスタ」

日時 平成三十年 三月二十五日（日）十五時三十分〜
会場 本願寺新瀉別院
内容 法話・太鼓の演奏・ライブ・夕食交流会等

ラジオ法話 新瀉教区布教団による ラジオ法話

FMながおか 八〇.七 毎週月曜〜金曜 十六時十五分よりの放送中です。
（放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、見附）

編集／浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新瀉教区委員会 広報部会
〒九四〇―二四〇二 新瀉県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新瀉別院内
TEL: 〇二五八七―二二二〇 FAX: 〇二五八七―二二五三六